

たたかえ! ヒガシヤマン

round 23



今回の
敵キャラ

Oh! 痛むマン (オータム)

【必殺技】

本当は仲良くなりたいけど、戦わなきゃいけない敵キャラの性。仕方ないので繰り出すキックは葉っぱのようなふにゃふにゃキック。おどけた顔は優しい心の表れなのです。

【考案者】村上 彩夏

あだ名はふにゃ顔なことから「ふにゃこ」と呼ばれています。お笑いに舞台、ピンホールカメラに、テキスタイル、ラジオアナウンスなど様々な「表現すること」をしてきました。今後はデンマークに留学予定。『funyajeat』という名前で様々な表現プロジェクトを展開中です。



©大畑榮里

ヒガシヤマンの返し技

【必殺!! ホールインワン!!】

18番ホール、ヒガシヤマンはパーディーパットに臨んでいた。今日は世界ヒーロー連合会出町柳支部のゴルフコンペだ。これを入れれば優勝だ。キャディのヒロ美ちゃんと熱海温泉旅行に行ける。集中力を高めてボールを押し出したそのとき、Oh! 痛むマンが現れた!! 邪魔だ、すごく邪魔だ。しかし敵は何を思ったかヒガシヤマンの放ったボールにふにゃふにゃキックをかましてボールをピンに沈めたのだった。それが何を意味するのか、ヒガシヤマンにはすぐにはわからなかった。

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は消耗している。「Oh!痛むマンとの熱海旅行は一生続くかと思われるほど長かったよ。ヒロ美?…そんな女もいたっけな」誰かに求められるって、きっといいことだ。がんばれ、ヒガシヤマン!

ヒガシ

VOL.
23

ガシ

2009 AUTUMN

もくじ

- 01・たたかえ!ヒガシヤマン
- 02・もくじ
- 03・東山schedule
- 05・【特集】東山再発見
- 09・ステージサポートプラン
- 11・ワークショップななめ読み
- 12・東山 あやし、をかし。
- 13・Higashiyama Youth

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、東山の情報もかじってほしい。ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。



イラスト
こまのさち【昭平劇場】
昭平劇場HP <http://showgekiehch.net/>

東山schedule 2009



	10月	11月	12月	
1	木	日	火	①
2	金	月	水	
3	土	火	木	⑥
4	日	水	金	
5	月	木	土	
6	火	金	日	
7	水	土	月	②
8	木	日	火	
9	金	月	水	
10	土	火	木	⑥
11	日	水	金	③
12	月	木	土	
13	火	①	日	
14	水	土	月	②
15	木	日	火	⑤
16	金	月	水	
17	土	火	木	⑥
18	日	水	金	
19	月	木	土	
20	火	①	日	
21	水	土	月	
22	木	日	火	
23	金	月	水	
24	土	火	木	⑥
25	日	水	金	
26	月	木	土	
27	火	①	日	
28	水	土	月	
29	木	日	火	
30	金	月	水	
31	土		木	

■ は休館日です

① 東山陶芸ワークショップ②

芸術の秋!陶芸2009「手びねり&電動ろくろ」

芸術の秋、電動ろくろを使って陶芸してみませんか?

土練り、成形、素焼き、施釉、本焼きという一連の流れを学びます。

初心者でも丁寧に教えてもらえるので安心。

電動ろくろだけでなく、手びねりでの成形も行い、昨年度一人あたりが作った作品数は6~8点になりました。ぜひこの機会に!!

日 時: 10月13日(火)~12月1日(火) *11月3日を除く

毎週火曜日 18:30-20:30 (最終日のみ19:00より) 全7回

定 員: 9名 (7人に満たない場合は中止)

参加費: 8,500円 (材料費込)

ナビゲーター: 涌波隆さん

② インプロビゼーション・ワーク ~働くきっかけにつなげよう~



ゲームや役者のトレーニング方法を使って、「自分を表現する」方法を探しましょう。どれが自分にあった方法か、どういうことに注意すべきかを探ります。同じように、「他者の表現を受け止める」体験もしてみましょう。こうした体験を通して、人や社会とのつながりを広げてみませんか。

日 時: 11月2日~12月14日 *11/23は除く

毎週月曜日 18:00-21:00 全6回

定 員: 10名 (先着順) 参加費: 無料

参加対象: 現在就職活動中の学生および、職についていない

15歳から概ね35歳未満の方

ナビゲーター: 二口大学さん(俳優) 広田ゆうみさん(俳優)

申込受付: 10月1日(木)13時~ 来館・電話・Eメールにて先着順受付

このプログラムは、京都若者サポートステーションと青少年活動センターの連携で実施する「職業ふれあい事業」です。

③ 東山陶芸ワークショップ③

芸術の秋!陶芸2009 「ひっかき絵つけ+色ぬり」

象嵌というひっかいて作った溝に色を流し込む技法を使って陶器に絵を描きます。筆で描くのはちがう、やさしい絵になります。陶芸初心者にも経験者にも楽しめる内容です。

日 時:11月6日・27日・12月11日 全3回
隔週金曜日18:30-20:30
(最終日のみ19:00から)

定 員:12名(8人に満たない場合は中止)
参加費:2,500円(材料費込)
ナビゲーター:今村 祐華さん(陶芸家)

④ 創活番ボランティア養成講座

「創活番」とは東山青少年活動センターで行なう演劇やダンスなどの発表・公演(ステージサポートプラン)のお手伝いをするボランティアチームです。

何か新しいことを始めてみたいと思っている方は、ぜひご参加ください。

参加費は無料・対象は高校生~30歳までの方。

日 時:11月8日(日)11:00-16:30

【①③④の事業について】

対象:京都市に在住もしくは在学・在勤
されている13歳から30歳までの方
会場:東山青少年活動センター

各事業の詳細部分に記載されています。申込
受付日より、直接来館、または電話・E-mailにて
先着順受付。

【②④の事業について】

対象は事業の詳細部分に記載しています。
会場は上記事業と同じ。

申込み・問合せ:東山青少年活動センターへ
直接来館、または電話・E-mailにて先着順受付。



⑤ ものづくりワークショップ

「自分をつくる~動物×ジブン~」

秋の遠足みたい、動物園に行って自分作りのイメージをふくらませ、センターに戻って形作り。釉薬や絵の具で色をつけ、焼きあがったらロビーに展示。最終日はお茶しながらほっこり品評会♪ゾウさんののんびり屋さん...?いや、サルっぽくもある?粘土でつくる「動物×ジブン」さて、どんなジブンが出来上がるでしょうか!?

日 時:11月14日(土)12:00-18:00
11月29日(日)14:00-16:00
12月15日(火)18:30-19:30 全3回

定 員:10名
参加費:3,000円(動物園入場料、材料費込)
*中学生は2,500円

ナビゲーター:an-rewさん(陶芸小物作家)
今村 祐華さん(陶芸家)

申込受付:10月19日(月)13時~来館・電話・Eメールにて
先着順受付

⑥ ココロからだンスW.S

身体を使って表現してみたいと思っていた方。

何か始めるきっかけを探していた方。

集まった人たちでひとつの作品を創作する過程を体験してみませんか?

日 時:12月3日(木)~2010年3月30日(火) 全30回
18:00-21:00 *祝日は15:00-18:00
12月・1月は毎週木曜日 2月・3月は毎週月・木曜日
(講習日程以外に自主練習をする可能性があります)

*説明会 11月26日(木)19:00-20:30
*準備日 3月21日(日)・23日(火)・25日(木)・26日(金)
*公演日 3月14日(土)・15日(日)

定 員:15名
参加費:23,000円(レッスン・公演費用一切込)

ナビゲーター:佐藤 健太郎さん(ダンサー)
アシスタント:大快和子さん 福井幸代さん

申込受付:10月20日(火)13時~来館・電話・Eメールにて
先着順受付

東山再発見

特集

一度見たら惚れちゃうこと間違いなし!!
ヘンテコ?かつ、愛らしすぎる!!
京都在住アーティスト、山さきあさ彦さんが
世に生み出す、なんとも言えないcuteな山ぐるみ(ぬいぐるみ)達☆☆☆
特別企画! 以前『ヒガシガシ』の表紙(1号から4号)を手掛けていただいたご縁で、特集取材班は東山区を飛び出し、鴨川にて山ぐるみ達と戯れながら、お話を伺いました。

アーティスト
山さきあさ彦さん



●——山ぐるみ製作を始められたきっかけは?

山さき 小さい頃から、絵を描くことや、モノを作ることが好きだったので、大学時代にも絵を描く活動はしてたんです。ぬいぐるみをちゃんと作ろうとしたきっかけは、3・4年ぐらい前にグループ展をした時。一緒にやることになった人がぬいぐるみを作っていたんです。それがもの凄く恰好よくて、衝撃を受けて…。その人の作品を見て、「これは僕もぬいぐるみを作らなければ!」という使命感に燃えたわけです。だからそれがきっかけですね。その時の衝撃が今も続いています。

●——ヒガシガシの表紙には、コラージュの作品が使われていましたが、今の活動とつながるところはありますか?

山さき 山ぐるみづくりは、あまり僕の中でコラージュと変わらなくて、切り絵の“切り貼り”が“縫う”に変わり、コラージュで使う糊が、針と糸に変わるだけです。人形を作るために必要な技術、例えば型紙とか、何とか縫いだとか…実は、そういうの全然できないんです。縫いこんで中に綿突っ込んで閉じるだけ。凄くシンプルな造りなので、作る姿勢としてはあんまりコラージュと変わらないんですけど、ぬいぐるみって出来たら物感が強いんですよ。なので、絵(コラージュ)とは少し受け取られ方が変わってきたように感じています。

●——受け取られ方の変化というのは?

山さき 例えば、絵をみる習慣やそれを楽しむ感覚って誰にでもあるというものではないと思うんです。それに比べてぬいぐるみって、小さい頃にもっていたり、UFOキャッチャーにもあるし、たくさんの人になじみがある。なんか傍にいてっていう、近い距離感があるのかな。ぬいぐるみを作り始めて、絵より興味を持ってくれる人の幅が広がったと感じます。ギャラリーの展覧会を観に行

くか、街なかの路上で変なおっさんが変なぬいぐるみを売ってるのに近づくと、その差ですよ。

●——山ぐるみを作るときのこだわりはありますか？

山さき こだわりは…こだわりをもたないことですね。しいて言うなら、自分が楽しむことですかねえ。楽しく作ったものってわかるじゃないですか。

●——この活動をしていて、一番面白いことは何ですか？

山さき やっぱり、出来たときですね。締めて閉じて、ぬいぐるみになって、山ぐるみになって、うわあ〜っていうのが凄く楽しい。

●——では、逆に辛いと思うことは？

山さき 縫いにくい布を選んでしまった時とかですね。例えば、裏地用とか。この質感でぬいぐるみを作ったら、やばい！みたいな素材を見つけたら、どんな縫いにくいものでも縫います。布状だったら、ビニールシートとか、すごく硬いものも一応縫えますし。でも、硬いものは勢い余って自分の指とかを刺してしまって、やめときゃよかった…ってなることもありますね。

●——番最初に実演販売をしたのはいつですか？

山さき 去年の10月頃にノムラテラーさんでしたのが初めてです。材料を提供してくれるとかで、ショーウィンドウのディスプレイの公募に出したんです。そしたら、ディスプレイをするのとセットで、最低一回はその期間中に実演販売をするという決まりがあったので、それで初実演販売。結構楽しかったこともあって、その後8回程やっています。去年は10月に1回、11月に2回。今年は2月に寺町通りの方で、それと5月にもしました。

●——山ぐるみのお値段設定の基準は？

山さき 明確な値段設定って僕の中で決まってないんですよ。気に入ったもので、売りたいくないものは置いてるし。すごくシンプルな奴でも思い入れがあると、値段上げてみたりとかしてます。人の気持ち的なところもあるし、「いくら出しても買いたい」ってというぐらいの気持ちのある人だったら、連れて帰ってもらっても大丈夫かなあって思いますね。

●——何かテーマを決めて作製することはありますか？

山さき 秋に鍋をメインテーマにして、山ぐるみを鍋に

入れたことがあります。猫鍋ってあるじゃないですか。その山ぐるみバージョン。でも、普段作っている山ぐるみそのものに関しては、逆にテーマをもたないようにしています。

●——なぜ、この夏はロックをテーマにしたのですか？

山さき 僕はある時期までずっと、FUJI ROCKに通い詰めていたんですが、最近全然行けてなかったんです。あ〜、FUJI ROCK行きたいなあって思っていて。せっかくの夏の展示だったので、山ぐるみにロックをさせてみたんです。

●——どんなふうにするんですか？

山さき とりあえず、布に顔を先に張り付けて、そんで、どういう形にしようかなって裏に向けて、切る形を大まかに書いて、それを縫い合わせていく感じですよ。

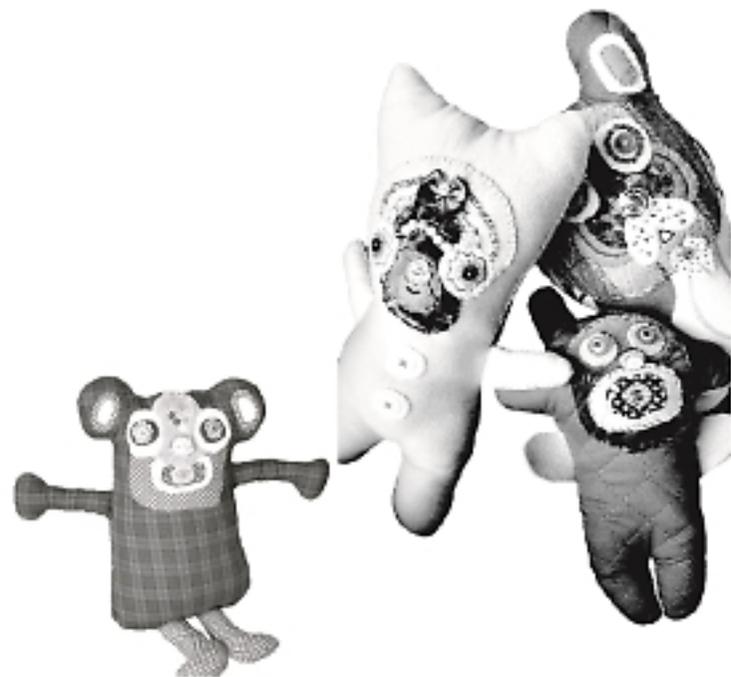
●——山ぐるみにはいろいろな大きさがあるんですか？

山さき 一番大きいやつは、140cmくらいですね。小さいのは10cmくらいです。小さいものは縫いにくいし、表情も付けにくいんですが、ちっちゃいならの可愛さがあるんですよ。

●——作業はどこでされているのですか？

山さき だいたい作業は家でしています。別にそんな特別な場所もいらないですね。時間が空いたら、また絵も描きたいのですが、今はたまたまそういう活動がメイ





ンなので、ほぼ毎日お家でチクチクしています。

●——山ぐるみを常に生で見られる場所はありますか？

山さき 今は、ないですね。まだわからないんですけど、年末頃にオープンするお店に委託で置かせてもらって、販売を始められたらいいなあと思っています。

●——山ぐるみのイベントはありますか？

山さき 人形劇がありますよ！

●——人形劇！そのきっかけは何ですか？

山さき 僕は教育テレビがすごく好きで、いつも朝9時くらいから、ずっとみてるんです。お母さんといっしょとか、例えばがんこちゃんとか。お話の中の国って、人形的な要素がありますよね。僕もせっかくぬいぐるみを作ってるんだから、やりたいなって思ったんです。そこで、ベビービーという演劇集団に、僕が作った大きめの山ぐるみをつかって人形劇のような事がやりたい、と話をしたんです。僕が物を提供して、こんな話をやって欲しいって案を出す。ベビービーと話し合いながら決めて、上演することになりました。

●——お話はオリジナルですか？

山さき 今までの劇のだいたいの話は元からあったものを使っているんです。YouTubeに実際の人形劇の映像があるんですけど、それは曾根崎心中。

●——人形劇はどこで見ることができますか？

山さき 僕が主催で不定期に行っている『趣味悠々』っていうイベントで観られますよ。友達のお店でやるんですが、料理を作る人に生で料理教室をやってもらったり、音楽ライブもありますし、落語もあり。人形劇だから子ども向きっていうわけではないです。僕というフィルターを通して、まっとうなことを目指すんじゃないくて、楽しく出来たらいいなという思いでやっています。

●——今後、チャレンジしたい作品はありますか？

山さき 今ね、着ぐるみを作ろうかと思ってるんです。着ぐるみ着たいなあと思って、被るだけの簡単なものでも作ろうかな、と。どっかの小さい穴から僕の目が出る感じで、できるだけシンプルな形にしたいなあ〜と考えてます。ひざ下は出して、ぶかぶかめのスウェットを履けばそれっぽく見えるかなと思うんです。自分が被って、山ぐるみになったら、色々広がりそうじゃないですか。山ぐるみが山ぐるみを売りたいなあ。イベントでの賑やかしゃ、ハロウィーン、忘年会、温泉旅行などにも使えたらいいなあ。

●——これからの活動する上での夢はありますか？

山さき 人の反応がもっと早く欲しいです。平面作品の場合、観た人の反応が返ってくるのが遅いと感じていたんです。ぬいぐるみをつくり始めて、絵を描いていたときより、若干その反応が早くなったので、そのスピードがどんどん速まればいいなあと思っています。例えば音楽だったら、その場のノリを見ることですぐに感想がわかるんですよね。僕、音楽が好きなので、その反応の速さって凄く憧れなんです。先ほど話した着ぐるみとかもそうですよね。その場にわ〜って出て行って、お客さんがわ〜ってなる速さ。普段話しているくらいの感覚でお客さんの反応をみたいんです。

あとは、ロックフェスティバル、現実世界でもしたいんです。今まで山ぐるみを買ってくれた人の中で、音楽をやっている人が結構いるので、山ぐるみを持つてミュージシャンを集めて、実際に山ぐるみロックフェスティバルをやりたいんです。僕が企画して、どこかのハコ借りてやりたいですね。

●——目指すはライブ感、ですかね。だからロックフェスティバル？ 山さきさんの新しい世界、楽しみにしています！ 今日貴重な時間を割いていただき、ありがとうございました！

山さきあさ彦

web: <http://www.ac.auone-net.jp/~asahiko>

e-mail: torys-office@r6.dion.ne.jp

- 取材・編集 夏原理恵
牛山瑞恵 森本 静香
(京都橘大学文化政策学部3回生)

今後の活動予定

10月4日 ノムラテラー四條本店前で実演販売

10月9日 関西テレビ 夜中2:29~2:40
「cre 8 (クリエイト)」出演。

10月11日 大阪の扇町公園でライブペインティング。

10月31日 陰陽(ネガポジ@丸太町)でピパ☆シェリー
企画ハロウィンイベントにデコレーション
で参加予定。



ヒガシガシの編集ボランティアが、
東山地域で見つけた風景をお届けします！

東山 あやし、をかし。 ～ぶらぶら歩いてみつけた風景～

八坂どおりにひっそりとたたずむ像。
そこには六道まいり六道珍皇寺と印されている。
てっぺんには小さなお地蔵さんが座っている。
横断歩道と信号の角、たくさんの人が行き交う場所にある。
それをみたら何かいいことがあるような予感。

- 荻巣 友里恵
(京都橘大学都市環境デザイン学科2回生)





STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

10月～12月

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、色んな人たちに東山にある創造活動室を利用して欲しい。だから次のようなグループの公演を応援しようと思いました。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ! (京都でがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

<http://www.ys-kyoto.org/higashiyama>

HPでも
ご覧頂けます。

応募
方法

*応募には …… まず、担当者にご相談ください。

*企画書の提出(公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください)

…………… 公演しようとする月の4ヶ月前の20日まで

*個別面談 …… 応募された全てのグループと面談(応募締切日より10日以内)

*決定 …… 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定。(公演しようとする月の4ヶ月前の月の末日)

THE GO AND MO'S

(ザ・ゴアンドモーズ)

「黒煙」



京都を拠点に活動を続ける劇団「ベトナムからの笑い声」の脚本・俳優をつとめる黒川猛の新ユニット。アクの強い笑いは一度見たら病みつきに!

10/17 (土) 14:00/18:00

10/18 (日) 14:00

(前売・当日共) 1200円

※関連企画『ヤマコジ』の公演(↓)をあわせて観ると200円割引になります。

○お問合せ…080-1436-5998 (制作)
goandmo-seisaku@live.jp

voice performance unit ヤマコジ

ヤマコジ朗読実験室round3 ~神様~

アパートの隣に住む「くま」と「わたし」の物語

川上弘美著「神様」「草上の昼食」を朗読とダンスで表現。自分らしく生きるとはどのようなことなのか?

相手のありのままを認めることは? そんなことを考えさせられる作品です。

10/31 (土) 14:00/19:00

11/1 (日) 14:00

(前売) 1000円 (当日) 1200円

(予約先着100名様までお菓子付き)

○お問合せ…090-1711-1079
yamakoji-voice@hotmail.co.jp
<http://yamakoji.sakuraweb.com/>



カッパ

■里親は河童。 「劇団里親は河童。旗揚げ公演」

コメディチックなお芝居です。たくさん笑ってやってください。「舞台やろう」その一言が全ての始まり。同じ高校で、同じ舞台にたった友だちに声をかけ、劇団作っちゃいました。

12/5 (土) 14:00/18:00
12/6 (日) 14:00

〔前売・当日共〕1000円

○お問合せ…

kappa1205@mail.goo.ne.jp

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。



■ケーブーズ meets

(平宅亮+上島洋子)×谷屋俊輔×楠亀えり香

「ハイライト09」

昨年末、劇団火群が上演した「ハイライト」を、今年はケーブーズによって上演。大阪の実力派キャストと中劇研出身の女子高生を擁し、満を持しての再演です!

【HP】<http://www.geocities.jp/kbzoffice/>

12/25 (金) 19:00

12/26 (土) 13:00/17:00

12/27 (日) 13:00

〔前売・当日共〕2000円

高校生 1500円 中学生以下 1000円
(共に要証明)

○お問合せ… kbzoffice@yahoo.co.jp

HIGASHIYAMA STAGE SUPPORT PLAN YU'Z

東山青少年活動センターでは、発表や公演等を控えているグループを対象に創造活動室を中心とした、センターの空間を練習場所として利用していただけるプランを実施します。

2010年3月までの申請分を募集しています。

- 3ヶ月先までの部屋(最大20時間)が予約できます。
- 創造活動室(175㎡のオープンスペース)をはじめとした、いくつかの空間が練習場所として使えます。
(一部利用できない空間があります。)
- 施設使用料は無料です。
- ▼対象は、京都市に在住もしくは、通学・通勤している、概ね13~30歳のメンバーが中心であること。
- ▼発表や公演の日時・場所が決定しているグループ。
*演劇・ダンス・映像など創造表現活動の発表・公演であればジャンルは問いません。

申込・問合せ

東山青少年活動センター
TEL 075-541-0619 E-mail fromeast@jade.dti.ne.jp

表現活動応援します🔥

申込みの方法は?

募集の要領は、次のようになります。

公演・発表が決まった!

まず、担当者にご相談ください。

応募

決定

予約

東山青少年活動センターに
申請書を提出してください。

申請書の内容

※センター指定の用紙に
記入していただきます。

- 代表者の氏名、連絡先
- 公演日、公演場所など
- 団体、ユニットの簡単なプロフィール
- 今回の公演や発表で実現したいことなど
- 利用希望日

workshop

workshop 読み
ななめ読み
ななめ読み
ななめ読み

●概要

東山フェスタ2009

「オリジナルノートをつくらう」



今回は一折製本という方法でペンホルダーのついたノート作りを行いました。作る際に難しかったのは、前小口を“揃えて切る”ところでした。

ちなみにノートの上の部分を“天”下の部分を“地”開く部分を“前小口”閉じている部分を“背”というそうです。

ナビゲーターから自宅でできるアレンジの話も、みんな真剣なまなざしで聞いていました。

〔開催日時〕2009年8月6日(木)18:30~20:30

〔参加者〕13名 〔参加費〕1,000円

〔ナビゲーター〕中尾あむさん(製本作家)

●プログラムでおもしろかったこと、よかったことは？

- ・ほしかったノートが自分で作れてよかった。
- ・自分でちゃんとした本が作れるということに感動した。
- ・意外と簡単に美しくできたので、良かったと思います。
- ・思いのほかきれいにできたので嬉しかったです！何を書こうかドキドキします。紙に目があるのはオドロキでした。
- ・むずかしい所はいっしょにやってもらえてやりやすかった。
- ・普段自分で本を作ることがないのでいい時間をすごせた。
- ・作ることが好きなのですごく楽しかったです。オリジナルの大きさもできるらしいのでチャレンジしたいです。
- ・新しい発見でした。
- ・今まで何度か豆本を作ったことはあったのですが、全く紙が言うこときいてくれず、難しいというイメージをもっていたのですが、今回参加して本当に楽しいと思うことができました。これを機にいろいろと挑戦していきたいです。

●プログラムで難しかったこと、残念だったことは？

- ・前小口を切る。平ゴムの穴をあけるのが難しかった。
- ・ひらゴムをひっつけるときがちょっと難しかったです。
- ・カッターで切るのが難しかった。
- ・特にありません。ていねいに教えてもらったので、ついていくことができました。
- ・いろんな厚みの製本や絵本のようなものもやってみて良かったです。
- ・レシビがあれば、家でおさらいできるので有難いです。

●また、こういったプログラムに参加したいですか？

はい 13名 いいえ 0名

ナビゲーターコメント

今回初めて参加させて頂いて、子どもから大人まで幅広い世代の人達と楽しい時間を過ごすことが出来ました。カッターで前小口を切り揃えるところが少し難しかったみたいですが、早く出来た人が出来てない人に教えてあげたり、小学生の様子を周りの人が気付いたり、微笑ましい光景が印象的でした。レッスン後は質問が飛び交い、皆さんの熱心さに時間を忘れるほどでした。普段製本に触れる機会は少ないと思うので、とても有意義なワークショップだったと思います。

運動の秋、芸術の秋、食欲の秋…食欲…欲！

今回のQ&Aでみんなに聞いた質問は『今、欲しいものはなんですか？』です。誰でも常に欲しいものがあるはず。聞いてみたら、すぐ手に入りそうなものから、夢のようなものまで多くの回答が返ってきました。同世代の人たちはこんなものを欲しがっています。さて、あなたの欲しいものは？

答えた人：
(計51名)

10代 20代



●取材・編集 村井 亜也子(京都橘大学文化政策学部3回生)
村田 麻衣 荻巣 友里恵(京都橘大学都市環境デザイン学科2回生)

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回は男声合唱サークル「アンサンブルリード」の岸岡陽介さん、赤星達也さん、上野学さんにお話を伺いました。

「アンサンブルリード」は京大合唱団のOBでまだ合唱を続けたいメンバーによって結成されました。京都を拠点に活動している男声合唱サークルです。

——アンサンブルリードのプロフィールを教えてください。
京大合唱団のOBで、2000年10月くらいに結成しました。人数は10人前後で、男声合唱なら何でもやります。新しい曲や古い曲、かたい曲や砕けた曲、でもどんな曲でも精力的にこなします。「リード」の意味は「輩(あし)」です。

——社会人のメンバーもいるのですか？

はい。でも今度の箱根音楽祭は、歌い手は学生のみなので、社会人は指揮者で参加します。通常のコンサートの時は社会人も参加して、学生と社会人2:1くらいの割合で活動しています。

——アンサンブルリードを始めたきっかけは？

大学の合唱団では、3回生で指揮者や役職などの役割を終えるので、4回生になると打ち込むものがなくなって、燃え尽き症候群になってしまったこと。メンバーの

中には、まだ音楽を続けていきたいという思いがあって、今度は大学の合唱団とは違う、自分達がやりたい合唱、選曲やコンサートについてもそうですし、型にはまらない自由な合唱。そして音楽的にもレベルの高いものができるんじゃないかと思って始めました。

——アンサンブルリードに女の人はいないですよね？
混声合唱は色彩があって表現の幅が広いといわれていますし、合唱として女性が入ることは全く問題ないんです。カラフルな混声合唱とは対照的に男声合唱は白黒の水墨画みたいなものって言われるんですよ。そう言われると白黒の世界というか、ハモったときの密度が濃いところが好きで男性合唱をやってます。あと、歌は女性と一緒に歌うより、女性に聴かせる方が好きですね(笑)
——なぜ東山青少年活動センターを利用しようと思ったのですか？

使用料が無料だったから！大学の合唱団のOBが大半だけど、大学院生や4回生もいてお金もないので、できるだけお金がかからないところでやろうと思ったからです。

——東山青少年活動センターの使い心地は？

ロビーで他の若い人たちが勉強していたり、若い人たちが作った作品が展示してあったりして、創造力が掻き立てられます。そして、同じ世代の人たちと一緒に頑張っているという気がしてテンションが上がります。隣の部屋から演劇の声が聞こえてきたりして、楽しかったり。
——どんな曲を歌われるのですか？

クラシックだと、宗教音楽が多くて、ミサの曲やマリア様を讃える曲。日本語の曲もやるけれど、外国語の曲の方が性にあっている人が多いようです。最近では、バーバーショップというスタイルにはまっています。床屋さんを集まって暇な男たちが歌っていたのが発祥のスタイルで、割と全世界でさかんなんです。ポピュラーでわかりやすい曲をきれいに整列して歌うのではなく、耳からも目からも楽しめるスタイル。合唱というよりエンターテイ



メントやショーの要素が強いものが好きでやっています。

——振りも付けるんですか？

はい。初めは恥ずかしかったけれど、やっていくうちに慣れてきて。振りをつけることで、合唱を初めてみる人にとっても楽しめるものになるのでは、と思い、僕らも楽しんでやっています。

——今練習している曲は？

今は「箱根八里」です。もうすぐある、「箱根学生音楽祭」というコンクールの課題曲なんです。自分たちで自由に編曲し、振りもつけて練習しています。あとはアメリカのミュージカルの曲や恋愛の曲など、クラシックな合唱よりはポピュラーなものを編曲してやっています。

——コンテストやイベントでは遠征するんですか？

時々していますね、この前滋賀で「ボーカルアンサンブルコンテスト」というのに参加してきました。

——本番用の衣装はどんなものですか？

おっと、いい質問きましたね。黒スーツの上下に中が緑のサテンシャツです。緑はアンサンブルリードの「葦」の色。なかなか一人でそういう格好できないですよ(笑)。

——関西中心に活動されているのですか？

基本的には京都市内で活動して、たまにコンクールなどがあると外に遠征する感じです。関西から出るのは箱根学生音楽祭くらいで、5月に京都府の合唱祭に出て、夏にはコンクールがあって、クリスマス頃には路上ライブのような感じでゼスト御池の地下や北大路のピブレの中庭で活動することもあります。そして3月に年度の締め

でコンサート。そんな感じです。

——アンサンブルリードの魅力ってなんですか？

いい意味でアホになれるところ。人前で恥ずかしげもなく大きな振り付けをしたり、思いきり気持ちを込めて歌ったり。お客さんを楽しませることにあまり妥協しないところが自分たちの誇れるところだと思っています。音楽的にはまだまだ発展途上ですけどね(笑)。

——最後に一言。

なかなか普通に活動してるだけじゃ知名度が上がらなくて。この機会にちょっとでも興味を持って下さったなら、気軽に楽しめる合唱をやっていますので、ぜひぜひ聴きに来てもらいたいです。よろしくおねがいします。

——ありがとうございました。

インタビュー終了後、ロビーにて一曲聴かせていただきました。振りがついていることで、楽しさがさらに伝わってくる感じ。コンクール、頑張ってくださいね！



取材・編集:大橋 祥乃 山本 たづ 萩原 友里恵
(京都橋大学都市環境デザイン学科2回生)